

山田 貴子 議員

全国学力・学習状況調査の結果は

問 今回の結果をどのように次年度につなげるか。

答 本市の平均正答率は、小・中学校とも総じて全国並みであったが、昨年より大幅に正答率を上げた県平均よりは低かった。昨年より無回答率は改善され、学力向上の取り組みは確かな成果を上げている。今後は成績下位層を減らす支援策を具体的に検討したい。

児童アンケートの結果は

問 携帯電話等の使用時間や読書時間と、正答率との比較結果を受け、今後の対策は。

答 携帯電話の使用時間が長いと正答率が下がる。高学力の生徒は読書時間を生み出している。家庭での時間の使い方を直すことが大切である。



可睡齋瑞龍閣

遠州三山など

知名度アップに努力を

問 登録有形文化財に登録される可睡齋瑞龍閣や、油山寺の御霊杉、栄西禅師尊像など誇れるものを観光に結び付けては。

答 指定文化財や貴重な歴史遺産に注目した新たな観光プランの創出にも取り組み、地域資源の掘り起こしと磨き上げを行い、袋井市観光の魅力アップに努めていきたい。

村松 尚 議員

新制度移行後の

子育て支援は

問 保育要件が緩和されるが、施設整備など本市の対応は。

答 入所要件として仮に月64時間就労とした場合、20日勤務で一日あたり3.2時間となる。このような短時間労働でも入所可能になる。施設整備は笠原保育所と笠原幼稚園の認定子ども園化に続き、袋井南保育所と袋井南幼稚園についても検討したい。

公共施設の跡地利用は

問 今後、総合健康センターへの移転に伴う公共施設の跡地利用の取り組みは。

答 袋井保健センター跡地は子ども早期療育支援センター「はぐくみ」が利用することになる。社会福祉協議会跡地は、袋井南部地域包括支援センターや袋井商工会議所の利用要望も含めて検討していきたい。

問 放課後児童クラブの来年度への対応は。

答 対象学年は6年生まで拡大される。そのため、これまでの1.7倍の利用希望者が見込まれ、平成31年度をめぐり余剰教室の活用や専用施設の建設を進めるとともに、公民館、幼稚園、保育所等の施設の利活用を検討し、段階的に利用者の増加に対応したい。



袋井北コミュニティハウス